

ギニア月報(2020年7月)

主な出来事

【内政】

- ・3日、国民議会が閉会。
- ・15日、コンデ大統領は、ギニアにおける新型コロナウイルス対策として、緊急事態宣言の更なる30日間の延長と一部の緩和措置を発表。
- ・17日、商用便が段階的に運航再開。

【外政】

- ・27日、コンデ大統領は、マリ情勢に関するECOWASオンライン会合に出席。

【経済(経済協力含む)】

- ・7日、経済・財務省と仏開発庁AFDは、新型コロナウイルス対策として、30億5900万ユーロ規模の支援に署名。
- ・30日、コンデ大統領は、2013年に発表されていたコナクリ＝ニジェールの鉄道計画再開の第一段階として、コナクリ＝クリア(65キロ)の鉄道敷設を発表。

1 内政

- ・3日、護憲国民戦線(FNDC)は、過去の抗議デモの犠牲者を悼する葬儀行進を実施。
- ・3日、国民議会が閉会。
- ・3日、キリディ・バングラ大統領事務総長は、ECOWAS代表団と秋に予定されている大統領選挙に関し、オンライン会合を実施。
- ・8日、FNDCは、抗議デモを計画していたが、当局が新型コロナウイルス対策として緊急事態宣言下であるため許可しなかったことを踏まえ、20日に延期。
- ・15日、コンデ大統領は、ギニアにおける新型コロナウイルス対策として、緊急事態宣言の更なる30日間の延長と一部の緩和措置を発表。
- ・17日、商用便が段階的に運航再開。
- ・22日、ラズモスキー当地ロシア大使は、国民議会議長に就任したカマラ議長を訪問し、ロシア議会両院発カマラ議長宛の議長就任への祝辞の書簡を手交。
- ・20日、FNDCは、コンデ大統領の三選反対抗議デモを実施。治安当局の発砲により2名が死亡。サノFNDC代表やディアロUFDG党首等主要人物は治安当局に自宅を囲まれ、不参加。

2 外政

- ・5日、第44回国連人権理事会において、ギニアは45ヶ国と、西側諸国によるウイグル族に対する人権弾圧への批判に関し、中国に対する根拠のない主張を控えるよう申し立て。
- ・27日、コンデ大統領は、マリ情勢に関するECOWASオンライン会合に出席。

3 経済(経済協力含む)

- ・4日、国民議会は、先月ギニアと世銀間で協定締結された、女性の自立へ6,000万米ドル、新型コロナウイルス対策へ7,000万米ドル、ギニア政府の新型コロナウイルス対策計画実現へ1,090万米ドルから成る、計1億5,000万米ドル規模の協定を批准。
- ・6日、EUと仏NGOのALIMA(Alliance for International Médical Assistance)は、新型コロナウイルス対策支援として、600万ユーロ規模の支援に関する契約を署名。
- ・7日、経済・財務省と仏開発庁AFDは、ギニア教育10年計画(PRODEG2020-2029)へ3400百万ユーロ規模の支援を行う旨署名。
- ・7日、ECOWASは、10月に予定されている大統領選挙実施支援として、独立選挙管理委員会(CENI)へ50万米ドル規模の支援を発表。
- ・7日、経済・財務省と仏開発庁AFDは、新型コロナウイルス対策として、30億5900万ユーロ規模の支援に署名(内訳:10億ユーロをコナクリ、ラベ、カンカン、ゼレコレの拠点へ、20億5900万ユーロを当地パスツール研究所へ)。
- ・30日、Chalco(中国アルミニウム)は、犠牲際の際に新型コロナウイルス対策支援としてボツファ県へ米4トン及び衛生キットを供与。
- ・30日、コンデ大統領は、2013年に発表されていたコナクリ=ニジェール鉄道計画再開の第一段階として、コナクリ=クリア(65キロ)の鉄道敷設開始を発表。

(了)